

話題沸騰ポット(GOMA-1015 型)
テスト設計仕様書

第**版

胡麻印まほうびん (株)

1 イン트로ダクション

1.1 文書識別子

[GOMA-1015_SYS-LTD-01]

1.2 本ドキュメントの目的

テストすべき品質特性を特定し、それらの品質特性に対応するテスト観点（目的）を列挙する。

テスト観点（目的）にテストベースを定義して、対応するテストタイプ・技法を記述する。

各レベルテストの内容から、不具合残留リスクを考慮してテスト実施ボリュームを記述する。

1.3 スコープ

システムテスト計画書で規定されたスコープに順ずる。

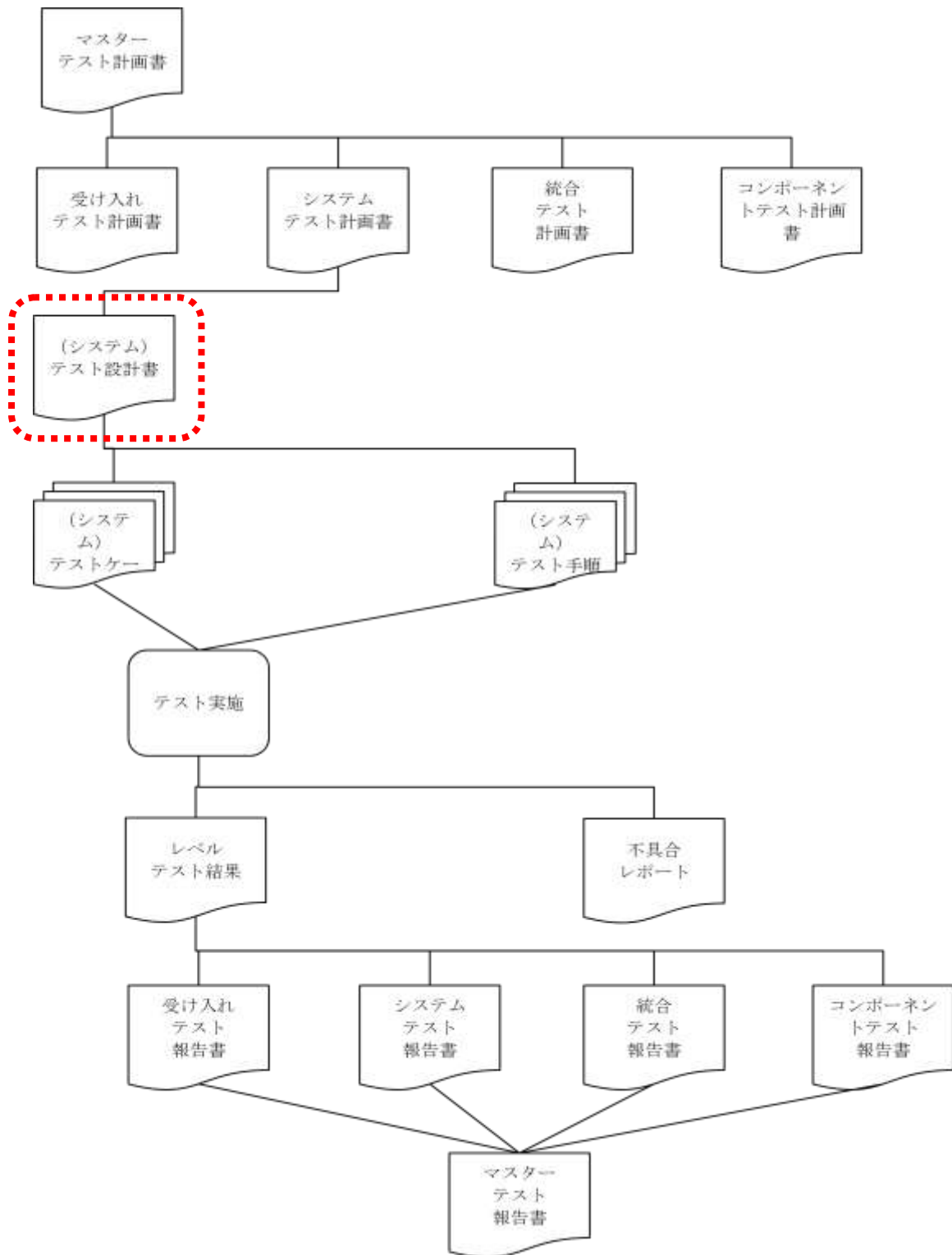
1.4 参考資料

1.4.1 話題沸騰ポット(GOMA-1015 型) システムテスト計画書

1.4.2 話題沸騰ポット(GOMA-1015 型) 要求仕様書

1.4.3 話題沸騰ポット(GOMA-1015 型) テスト観点一覧

1.5 本ドキュメントの位置づけ



2 レベルテスト設計詳細

2.1 テストすべき品質特性

システムテストにおいてテストすべき品質特性を選定する

品質特性・副特性		テスト対象	備考
機能性	合目的性	○	目的・要求に合致していること
	正確性	○	仕様規定の境界で、機能が正しく動作すること
	相互運用性	-	システムテストでは、対象外とする (詳細設計・コード実装時に確認を行う)
	セキュリティ	-	
	機能性標準適合性	-	
信頼性	成熟性	○	障害の有無・量・頻度の度合いを確認
	障害許容性	○	仕様規定の範囲で、エラー検知されること
	回復性	○	障害発生時にいち早く回復して使用できること
	信頼性標準適合性	-	本製品の特性からテスト対象外とする
使用性	理解性	○	特定の作業に適用できるか、どのように利用できるかを、利用者が理解できること
	習得性	○	適用を利用者が習得できること
	運用性	○	運用および運用管理を行なうことができること
	魅力性	-	システムテストでは、対象外とする (外観設計・要求開発時に確認を行う)
	使用性標準適合性	-	本製品の特性からテスト対象外とする
効率性	時間効率性	-	システムテストでは、対象外とする (詳細設計・コード実装時に確認を行う)
	資源効率性	-	
	効率性標準適合性	-	
保守性	解析性	-	システムテストでは、対象外とする (詳細設計・コード実装時に確認を行う)
	変更性	-	
	安定性	-	
	試験性	-	
	保守性標準適合性	-	
移植性	環境適応性	-	システムテストでは、対象外とする (詳細設計・コード実装時に確認を行う)
	設置性	-	
	共存性	-	
	置換性	-	
	移植性標準適合性	-	

2.2 品質特性とテスト観点

品質特性・副特性に対応するテスト観点を列挙する

品質特性・副特性		テスト観点	備考
機能性	合目的性	利用者の具体的目標(要求)が達成できること	
		利用者が暗に期待されている要求が達成できること	
	正確性	仕様規定の境界で、機能が正しく動作すること	
		仕様規定の状態遷移が正しく動作すること	
		マニュアルと仕様が一致していること	
信頼性	成熟性	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 25px; padding: 20px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>作成中 (TBD)</p> </div>	
	障害許容性		
	回復性		
使用性	理解性		
	習得性		
	運用性		

2.3 テストベース、テスト技法、テストタイプ
 選定した品質特性に必要なテストベース、適用するテスト技法・テストタイプを列挙する

品質特性・副特性		テスト観点	テストベース					
			要求仕様書	操作仕様書	温度制御仕様書	状態遷移図	ユースケース	etc
機能性	合目的性	利用者の具体的目標(要求)が達成できること	○	○	-	-	○	-
		利用者が暗に期待されている要求が達成できること						
	正確性	仕様規定の境界で、機能が正しく動作すること	○	○	○	○	-	-
		仕様規定の状態遷移が正しく動作すること						
		マニュアルと仕様が一致していること						
信頼性	成熟性		○			○	○	-
	障害許容性						-	○
回復性						-	-	
使用性	理解性					○	-	
	習得性					○	-	
	運用性		○	○	-	○	○	-

作成中
(TBD)

品質特性・副特性		技法									
		同値分割	境界値	状態遷移	デシジョンテーブル	直交表	タイミング	ユースケース	負荷テスト	探索的テスト	etc
機能性	合目的性	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-
	正確性	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
信頼性	成熟性	○									
	障害許容性	-									
		回復性	-								
使用性	理解性	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○
	習得性	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○
	運用性	-	-	○	-	-	-	○	-	○	○

作成中
(TBD)

2.4 テストボリューム

下記アクティビティの実施予定に応じて、リスクを抽出しテストボリュームを定義する

- コンポーネントテスト実施状況
 - 設計内容：コードカバレッジ(C0、C1)等
 - 実施内容：実施率・回帰テスト等
 - 不具合状況：検出・修正状況等
- 統合テスト実施状況
 - 設計内容：インターフェーステスト等
 - 実施内容：統合率等
 - 不具合状況：検出・修正状況等

2.5 テストすべき機能

- 操作要求仕様
 - コンセント
 - 蓋
 - 沸騰ボタン
 - 保温設定ボタン
 - 解除ボタン
 - 給湯ボタン
 - タイマボタン
 - 水位メータ
- 温度制御行為
 - 沸騰行為
 - 保温行為
 - 温度制御行為をしない(アイドル)

2.6 機能の合否基準

3 付録

3.1 品質特性一覧（別紙参照）

3.2 テストタイプ一覧（別紙参照）

3.3 ドキュメント変更履歴

Ver	変更日	変更箇所	内容	変更者